

平成 27 年度事業概要

	事項 1	概 要	実 績 報 告
法 人			
1	理事会・評議員会の開催状況		<理事会> 第 1 回 平成 27 年 5 月 27 日 1 (学) 玉田学園役員・評議員の選任について 2 平成 26 年度 (学) 玉田学園事業報告について 3 平成 26 年度 (学) 玉田学園決算について 4 近隣土地の寄付について 5 2 号館耐震改築工事に係る進捗状況等について (報告) 第 2 回 平成 27 年 9 月 18 日 1 (学) 玉田学園 役員・評議員の選任について 2 平成 26 年度 (学) 玉田学園事業報告について 3 平成 26 年度 (学) 玉田学園決算について 4 近隣土地の寄付について 5 2 号館耐震改築工事に係る進捗状況等について (報告) 第 3 回 平成 28 年 2 月 5 日 1 土地購入について 2 神戸常盤大学・同短期大学部 2 号館耐震改築工事の概要と資金計画について 3 神戸常盤大学・同短期大学部 3 号館耐震改修工事について 4 神戸常盤女子高等学校学則変更について 第 4 回 平成 28 年 3 月 24 日 1 (学) 玉田学園役員・評議員の選任について 2 平成 28 年度 (学) 玉田学園事業計画 (案) について 3 平成 28 年度 (学) 玉田学園予算 (案) について 4 神戸常盤女子高等学校 3 号館耐震改修工事について 5 神戸常盤大学学納金の変更 (案) について <評議員会> 第 1 回 平成 27 年 5 月 27 日 1 (学) 玉田学園役員・評議員の選任について 2 平成 26 年度 (学) 玉田学園事業報告について 3 平成 26 年度 (学) 玉田学園決算について 4 近隣土地の寄付について 5 2 号館耐震改築工事に係る進捗状況等について (報告) 第 2 回 平成 27 年 9 月 18 日 1 (学) 玉田学園 役員・評議員の選任について 2 平成 26 年度 (学) 玉田学園事業報告について 3 平成 26 年度 (学) 玉田学園決算について 4 近隣土地の寄付について 5 2 号館耐震改築工事に係る進捗状況等について (報告) 第 3 回 平成 28 年 2 月 5 日 1 土地購入について 2 神戸常盤大学・同短期大学部 2 号館耐震改築工事の概要と資金計画について 3 神戸常盤大学・同短期大学部 3 号館耐震改修工事について 4 神戸常盤女子高等学校学則変更について 第 4 回 平成 28 年 3 月 24 日 1 (学) 玉田学園役員・評議員の選任について 2 平成 28 年度 (学) 玉田学園事業計画 (案) について 3 平成 28 年度 (学) 玉田学園予算 (案) について 4 神戸常盤女子高等学校 3 号館耐震改修工事について 5 神戸常盤大学学納金の変更 (案) について
2	中期事業計画	耐震補強工事等 (耐震診断含む) ・神戸常盤女子高等学校 3 号館 (耐震補強工事予定) ・神戸常盤大学 2 号館 (耐震改築工事) 3 号館 (27 年度以降：耐震補強工事予定) ・神戸常盤大学附属ときわ幼稚園 (27 年度以降：耐震補強工事予定)	大学 2 号館の耐震改築工事については計画どおり完了。それ以外の工事については平成 28 年度以降実施予定。
		大学キャンパス内教育環境整備 (自習室、実験実習室の充実など) ・上記 2 号館耐震改築工事とリンク	大学 2 号館の耐震改築工事と併せて完了。
		認定こども園 (幼保連携型) 開設に向けた検討	平成 29 年度以降の開設に向けて検討中。
		近隣土地寄贈・買収の検討	長田区蓮宮通 6 丁目の土地 (325 m ²) を取得。

3	財政基盤の安定化	長期的な安定した経営と財政基盤の確立が急がれる中、私学を取り巻く環境は、消費税増税、学生確保の困難、私学助成の減少傾向など依然として厳しい状況にある。 特に、大学経費の最大費目である人件費、教育研究経費の確保、増加する施設設備関係費用などを確保するためにも、適切で計画的な財政運営を図るとともに、予算策定の手法等見直しを実施し、「費用対効果」を充分に考慮し、経費支出のスリム化を図る。	詳細については別添決算書のとおり。
4	地域貢献及びボランティアセンター事業の推進	①地域貢献 地域交流センターが中心となり、地域の課題解決や活性化などの事業を展開する。地域社会＝（イコール）学びのフィールドと位置付け、大学生・高校生は教育課程内外の様々な活動を通じて地域貢献を果たすと同時に、生き抜く力（いわゆる人間力）を身に付けることを目的に事業を推進する。 ②ボランティアセンター事業の推進 阪神・淡路大震災発生から20年の節目に、本学園が取りまとめた「未来に向けた防災宣言」のもと、次世代に向けた新たな出発の年と位置付け、防災・災害支援ボランティアの育成事業を推進する。また東日本大震災における支援活動は、発生直後の被災地ニーズから大きく変わり、本学園が行ってきた緊急援助活動（炊き出し等）は一定の役割を果たしたことから、支援活動のあり方を見直すとともに、近年、雨季に多発している豪雨災害等の有事に迅速な対応を行える体制を整備したいと考えている。	①地域貢献 地域交流センターが中心となり地域貢献や課題解決、活性化に資する数多くの活動に取り組んだ。 ＜地域活性化事業＞ ・高齢化社会の課題である高齢者の健康と福祉を中心とした公開講座などの活動を行った。 （16講座を実施し受講者数679名であった） ・TOKIWA 健康フェア2014では、健康をテーマに25を超えるブースを出店し、前年度と同じく1,000名を超える参加者を記録した。 ＜ボランティア（一般）事業＞ 地域活動拠点「わいがやラボ」を中心に、学生企画イベントや離島プロジェクト、コミュニティハウスでの「まちの活性化プロジェクト」を展開。各学科の専門性を活かした様々な活動を行い、地域貢献を果たしながら、その経験を自らの成長に役立てている。 ②ボランティアセンター事業の推進 ボランティアセンターでは学生・生徒合わせて261名がボランティア登録を行い、述べ589名の学生・生徒が活動に参加した。地域や福祉施設からの依頼は74件に上り、その内容は地域行事への参加や福祉施設の行事支援、災害復興支援の他、子育て支援のための託児ボランティアなどである。また、子どもたちへの歯みがき指導等、学科の専門性を活かした活動も展開した。（平成27年度の活動詳細は【資料2－3】のとおりのとおり）。
5	学園内の高大連携事業等の推進	昨年度に引き続き、学生・生徒の確保、質の向上、職業意識の向上など双方のメリットのある事業を協議・展開していく。また、昨年度新設された地域交流センター、国際交流センター、神戸市長田区との共同プロジェクト“コミュニティハウス”、及び神戸常盤ボランティアセンターの共同利用等により、学生・生徒のスキルアップを図る。	神戸常盤女子高等学校との連携については例年同様、医療検査学科、看護学科、並びに口腔保健学科の体験授業を実施し、専門職に対する理解、並びに女子高生徒の学習意欲の維持・向上に努めている。こども教育学科においては、大学保育特進コース科目「保育進学基礎」においてこども教育学科専任教員と連携した授業を行った。また歯科検診、進路ガイダンス、進学説明会、TOKIWA 健康フェア、女子高文化祭「健康講座」への協力、進路講座、ときわ幼稚園見学、ときわ病院見学など概ね計画どおり実施した。（【資料2－4～2－9】参照）
6	各センター事業報告	子育て支援センター 口腔保健研究センター ライフサイエンス研究センター 神戸常盤ボランティアセンター 健康保健センター KTU 研究開発推進センター 教職支援センター 地域交流センター	平成27年度は年間稼働日数217日、利用者数5,116人（1日平均23.5人）と、未就園児とその保護者を中心に、多くの親子にご利用いただいた。法人並びに大学の協力を得て実施している独自のプログラムは何れも好評であり、地域の子育て支援の拠点として大きな役割を果たしていると言える。 また、平成26年9月10日には、本センターが核となり、「地域の子育て支援や保育に携わる人材の育成等に寄与すること」を目的に、本学と神戸市こども家庭局との間で連携協定を締結した。 本センターは、地域住民ならびに教職員・学生の口腔保健や口腔保健に関する啓発事業を主体的に行うとともに、口腔保健に関する研究を推進することを目的としている。 平成27年度は、医療従事者を含めた地域住民等への啓発活動を28件行うとともに、地域と連携した保健事業8件に参加した。神戸常盤大学附属ときわ幼稚園、神戸常盤女子高等学校の歯科検診、ならびに本学新入生の歯科検診と口腔ケアを行った。また、神戸常盤大学短期大学部歯科診療所において、地域住民・学生を含む336名に口腔ケアを行った。同診療所では臨地実習の一環としての保護者実習も実施し保護者から好評を得た。研究関連として14件の学会発表、論文・著書併せて14編の執筆を行った。 ライフサイエンス研究センター利用者の研究を活性化し、学内外での競争的研究資金獲得を目標に活動した。その結果、科学研究費を5件、学外研究費2件を獲得できた。その他、学内競争研究資金は3件が採択された。それらの研究成果として、英文学術論文5報、和文学術論文4報、総説1報、招待講演・特別講演5回、学会発表26回（海外2回、国内24回）を行った。使用者の増加に伴い、微量冷却遠心機を設置した。 本センターは、長田区社協事務局長、事務局部長、事業課長（長田ボランティアセンター所長）に運営委員を委嘱し、地域との協働・連携を念頭に活動を行った。【資料2－3】 また、学生・生徒に対する広報活動として、大学および高校においてはセンターガイダンスを実施した。 本センターは、全国大学保健管理協会近畿地方部会運営委員校・代表世話人校として近畿地方部会研究集会・総会（平成27年7月）などを開催した。全国大学保健管理協会総会・研究集会（平成27年9月）に健康保健センター委員を派遣した。平成27年度の利用者数についてであるが、健康管理室は延51名、学生相談室は17名（延114名）であった。また、平成27年10月より養護教諭1名（キャリア支援課所属）が配置され、学生へのより充実した支援体制が整備された。 本センターは、平成27年度より教育部門を切り離して「研究開発推進センター」として歩むことになった。研究意識調査を実施し前回調査と比較した結果、本学教員の研究活動は以前よりも充実している者は少なく、多くは学務のため研究時間が確保できないなどの理由から活性化できていなかった。そのため、テーマ別研究費改革、夏の研修会の充実、神戸常盤学術フォーラムの工夫などを行った。また、成果公表のための機関リポジトリの構築に向けて着手した。 本センターは、「平成27年度教職支援プログラム」に基づき、小学校教諭、養護教諭志望者に対して、学科、キャリア支援課と連携を図りながら活動を展開した（一部公立幼保志望者含む）。まず、大学推薦枠規定について問題点の確認・修正を行った。学力指導としては定例学習会、秋季・春季セミナー（主要教科）、弱点フォロー勉強会、春季集中学習会、あるいは東京アカデミー主催の人物対策講座、基礎力養成講座などを開催した。また、学生の学力を把握すべく、学力把握テスト（年3回実施）、全国模擬試験、都道府県別模擬試験を実施した。その他、学生の学習意欲を換気すべく、こども教育学科1期生による合格者座談会、養護教諭志望者を対象とした合格者座談会を開催した。 本センターは、地域の課題解決や活性化などの事業を展開する。地域社会＝（イコール）学びのフィールドと位置付け、大学生・高校生は教育課程内外の様々な活動を通じて地域貢献を果たすと同時に、生き抜く力（いわゆる人間力）を身に付けることを目的とし、地域活性化事業、ボランティア（一般）事業を展開した。

6	各センター事業報告	国際交流センター	近年「大学のグローバル化」が叫ばれる中、本学も国際交流を通して得る、学生のグローバルな視野と人間性の拡大を目指した活動の展開を試みている。平成 27 年度は、①4 学科のべ 41 名がネイティブ講師によるイングリッシュイベントに参加 ②大学コンソーシアムひょうご神戸学生派遣プログラムで、医療検査学科および看護学科 24 名がボストン、ネパール、フィリピンを、口腔保健学科 8 名がシカゴを訪問。③ネパール交換研修では、ネパールから 2 名の研修生を受入れ、本学を中心にした研修と学生との交流を行った。
7	その他	ナレッジキャピタルでの大学都市「神戸」の魅力発信プロジェクトへの参画 【概 要】 平成 27 年度の神戸市の事業として、“大学都市”神戸の魅力を発信し、産学による新たなコラボレーションを促進すべく、市内 8 大学（予定）と神戸市が連携し、グランフロント大阪の中核施設である「ナレッジキャピタル」において発信事業を展開する。 本学においては、SD の活性化、教職協働体制の充実等の観点も踏まえ、特に若手職員の能力向上に努めていくことを念頭に、間接広報、健康チェックなど、当該施設を利用し本学のオリジナリティを発信していく。また、中堅職員においてもこれまで培ってきた能力を若手職員に繋げるべく、若手職員と連携・支援し事業を展開するなど、「持続的な大学改革を支える職員力向上」に繋げていきたい。 【展示期間（60 日間）】 第 1 期：平成 27 年 5 月 22 日～6 月 20 日（30 日間） 第 2 期：平成 27 年 7 月 21 日～8 月 19 日（30 日間） 計 60 日間	・ナレッジキャピタルでの大学都市「神戸」の魅力発信プロジェクトへの参画 【展示期間（第 1 期）】 平成 27 年 5 月 22 日～6 月 20 日 【展示期間（第 2 期）】 平成 27 年 7 月 21 日～8 月 19 日 本取組みでは、SD の活性化、教職協働体制の充実等の観点も踏まえ、特に若手職員の能力向上を目的に間接広報、健康チェックなど、当該施設を利用して本学のオリジナリティを発信した。

大 学・短大部

1

キャリア支援及び学生支援の充実強化

平成 27 年度も各学科就職委員会と連携の上、就職支援に取り組む。従来より推進する「キャリアサポーター（卒業生）」の参加型による在校生へのガイダンス、懇談会等を充実させ、業界研究、職種研究等の就職活動の準備対策に繋げていく。また、教育学部こども教育学科の第 1 期生の就職支援のサポート体制を就職委員会と連携のもと強化し、早めの計画で学生の準備に計画性を持たせ支援をしていく。

また、学生支援業務については、こども教育学科が完成年度を迎え学生総数が最大となるため、学生支援業務の効率化を図る。

平成 27 年度就職状況（H28. 5. 1 現在）

	卒業生	進学希望者	進学者	就職希望者	就職者	就職率
医療検査	88	6	6	82	71	86.6%
看護	89	0	0	89	85	95.5%
こども教育	85	1	1	82	82	100.0%
口腔保健	73	4	4	69	66	95.7%

平成 27 年度国家試験合格率

	受験者数	合格者数	合格率	全国平均	全国平均（新卒）
臨床検査技師	88	77	87.5%	89.6%	87.4%
看護師	87	82	94.3%	89.4%	94.9%
歯科衛生士	73	73	100.0%	96.0%	97.4%

キャリアサポーター（卒業生等）による勉強会の実施

【医療検査学科】

月 日	事 項
4 月 20 日	キャリアサポーターとは
4 月 29 日	「生理機能①」症例について
5 月 23 日	「生理機能②」症例について
6 月 13 日	先輩臨床検査技師の話を聞く会 株式会社兵庫臨床検査研究所、一般財団法人近畿健康管理センター、 宮野医療器株式会社
6 月 27 日	「腹部領域の解剖」について
12 月 12 日	「生理機能実習①」
1 月 23 日	「生理機能実習②」
2 月 27 日	講義「血液について」

【看護学科】

月 日	事 項
4 月 25 日	先輩養護教諭の話を聞く会（教職支援センター共催） 兵庫県立西はりま特別支援学校、神戸市立有野幼稚園（外部委託）
5 月 23 日	先輩看護師の話を聞く会 看護師 川崎病院、甲南病院、製鉄記念広畑病院、北播磨医療センター、 済生会兵庫県病院 保健師 姫路市（外部依頼）
2 月 29 日	ときわ病院と神戸常盤大学の未来の仲間作り 看護師（2 名）

【こども教育学科】

月 日	事 項
11 月 27 日	小学校教諭合格者座談会
1 月 22 日	4 年生からメッセージ（施設、幼稚園、公立保育所、小学校）

【口腔保健学科】

月 日	事 項
4 月 5 日	現場で活躍する歯科衛生士の話（学外オリエンテーション） ウエルテック株式会社（外部依頼）、神戸市医療センター西市民病院、 村内歯科医院
4 月 9 日	現場で活躍する歯科衛生士の話（2 年生対象） 岡山大学、神戸市歯科センター
11 月 12 日	先輩歯科衛生士の話聞く会 さえき小児矯正歯科医院、大谷歯科クリニック、神戸医療生協なでしこ歯科

企業研究

【医療検査学科（進路勉強会）】

月 日	事 項
9 月 12 日	株式会社日本医学臨床検査研究所、宮野医療器株式会社、 株式会社兵庫臨床検査研究所

【こども教育学科（一般就職希望者）】

月 日	事 項
6 月 12 日	新卒応援ハローワーク（進路勉強会）
12 月 21 日	マイナビ就職講座①
1 月 18 日	マイナビ就職講座②
1 月 25 日	マイナビ就職講座③

1	キャリア支援及び 学生支援の充実強化		平成 27 年度修学支援奨学金の利用状況（採用分） ・新入生 22 名、在学生 41 名（緊急対応 6 名含む）63 名の申請 <table><tr><th>種 類</th><th>学 科</th><th>対 象</th><th>金 額</th><th>人 数</th><th>合計（円）</th></tr><tr><td rowspan="4">新入生</td><td>医療検査</td><td>新入生</td><td>500,000</td><td>4</td><td>2,000,000</td></tr><tr><td>看護</td><td>〃</td><td>500,000</td><td>4</td><td>2,000,000</td></tr><tr><td>こども教育</td><td>〃</td><td>500,000</td><td>2</td><td>1,000,000</td></tr><tr><td>口腔保健</td><td>〃</td><td>500,000</td><td>2</td><td>1,000,000</td></tr><tr><td rowspan="10">在学生</td><td rowspan="3">医療検査</td><td>2 年</td><td>425,000</td><td>4</td><td>1,700,000</td></tr><tr><td>3 年</td><td>425,000</td><td>4</td><td>1,700,000</td></tr><tr><td>4 年</td><td>425,000</td><td>1</td><td>425,000</td></tr><tr><td rowspan="3">看護</td><td>2 年</td><td>475,000</td><td>3</td><td>1,425,000</td></tr><tr><td>3 年</td><td>475,000</td><td>1</td><td>475,000</td></tr><tr><td>4 年</td><td>475,000</td><td>1</td><td>475,000</td></tr><tr><td rowspan="3">こども教育</td><td>2 年</td><td>375,000</td><td>3</td><td>1,125,000</td></tr><tr><td>3 年</td><td>375,000</td><td>2</td><td>750,000</td></tr><tr><td>4 年</td><td>375,000</td><td>1</td><td>375,000</td></tr><tr><td>口腔保健</td><td>2 年</td><td>350,000</td><td>2</td><td>700,000</td></tr><tr><td rowspan="5">緊急用</td><td rowspan="3">看護</td><td>3 年</td><td>600,000</td><td>1</td><td>600,000</td></tr><tr><td>3 年</td><td>475,000</td><td>1</td><td>475,000</td></tr><tr><td>4 年</td><td>475,000</td><td>1</td><td>475,000</td></tr><tr><td>こども教育</td><td>2 年</td><td>375,000</td><td>1</td><td>375,000</td></tr><tr><td>口腔保健</td><td>2 年</td><td>350,000</td><td>1</td><td>350,000</td></tr><tr><td colspan="4">合 計</td><td>39</td><td>17,425,000</td></tr></table>	種 類	学 科	対 象	金 額	人 数	合計（円）	新入生	医療検査	新入生	500,000	4	2,000,000	看護	〃	500,000	4	2,000,000	こども教育	〃	500,000	2	1,000,000	口腔保健	〃	500,000	2	1,000,000	在学生	医療検査	2 年	425,000	4	1,700,000	3 年	425,000	4	1,700,000	4 年	425,000	1	425,000	看護	2 年	475,000	3	1,425,000	3 年	475,000	1	475,000	4 年	475,000	1	475,000	こども教育	2 年	375,000	3	1,125,000	3 年	375,000	2	750,000	4 年	375,000	1	375,000	口腔保健	2 年	350,000	2	700,000	緊急用	看護	3 年	600,000	1	600,000	3 年	475,000	1	475,000	4 年	475,000	1	475,000	こども教育	2 年	375,000	1	375,000	口腔保健	2 年	350,000	1	350,000	合 計				39	17,425,000
種 類	学 科	対 象	金 額	人 数	合計（円）																																																																																																				
新入生	医療検査	新入生	500,000	4	2,000,000																																																																																																				
	看護	〃	500,000	4	2,000,000																																																																																																				
	こども教育	〃	500,000	2	1,000,000																																																																																																				
	口腔保健	〃	500,000	2	1,000,000																																																																																																				
在学生	医療検査	2 年	425,000	4	1,700,000																																																																																																				
		3 年	425,000	4	1,700,000																																																																																																				
		4 年	425,000	1	425,000																																																																																																				
	看護	2 年	475,000	3	1,425,000																																																																																																				
		3 年	475,000	1	475,000																																																																																																				
		4 年	475,000	1	475,000																																																																																																				
	こども教育	2 年	375,000	3	1,125,000																																																																																																				
		3 年	375,000	2	750,000																																																																																																				
		4 年	375,000	1	375,000																																																																																																				
	口腔保健	2 年	350,000	2	700,000																																																																																																				
緊急用	看護	3 年	600,000	1	600,000																																																																																																				
		3 年	475,000	1	475,000																																																																																																				
		4 年	475,000	1	475,000																																																																																																				
	こども教育	2 年	375,000	1	375,000																																																																																																				
	口腔保健	2 年	350,000	1	350,000																																																																																																				
合 計				39	17,425,000																																																																																																				
2	入学者の安定確保	近隣地域で本学と同系統の学科が競合し、更に新設も続いている厳しい状況の中、入学者を安定的に確保するには、本学の認知・知名度、在学生の満足度をさらに高める必要がある。そのためには、各科教育内容の充実を図り、各国家試験合格率、専門職への就職者数等実績を上げることによる信頼できる大学としての位置づけの確立となるが、これを学生募集戦略に立ち、大学における各委員会と在学生情報を共有し連携を図りながら積極的に広報展開する。 また、特待生学修奨励奨学金制度により、学修意欲の高い入学者を確保していく。 看護学科通信制課程においては、昨年度に引き続き関東地方での学生募集を展開し、学生の確保に努めていく。	①入学者等 （平成 27 年度） 486 名 神戸常盤大学 保健科学部 医療検査学科 94 名 看護学科 85 名 看護学科（編入学） 2 名 教育学部 こども教育学科 84 名 神戸常盤大学短期大学部 口腔保健学科 76 名 看護学科通信制課程 145 名 特待生学習奨励奨学金対象入学者数： 医療検査学科 10 名、看護学科 5 名、こども教育学科 1 名、口腔保健学科 0 名 （平成 28 年度） 505 名 神戸常盤大学 保健科学部 医療検査学科 96 名 看護学科 82 名 看護学科（編入学） 0 名 教育学部 こども教育学科 86 名 神戸常盤大学短期大学部 口腔保健学科 80 名 看護学科通信制課程 161 名 特待生学習奨励奨学金対象入学者数： 医療検査学科 1 名、看護学科 3 名、こども教育学科 0 名、口腔保健学科 3 名 ②高校訪問 訪問学校数延べ 600 校（昨年 550 校）（内訳：県内 408 校、他県 192 校） ③病院及び診療所訪問 看護学科通信制課程においては、26 年度より東京にスクーリング会場を設けたことから、関東地域（特に東京都、神奈川県、埼玉県ほか）及び兵庫県内の病院（300 床以下、精神科・整形外科が診療科目にある病院）を中心に募集活動を展開。約 150 施設を訪問した。併せて、各都県の看護協会も訪問するなど積極的な募集活動に努めた。 ④オープンキャンパス ＜参加者数＞ <table><tr><th></th><th>開催日</th><th>参加者数</th></tr><tr><td>第 1 回</td><td>6 月 20 日</td><td>248 名</td></tr><tr><td>第 2 回</td><td>7 月 12 日</td><td>282 名</td></tr><tr><td>第 3 回</td><td>8 月 8 日</td><td>476 名</td></tr><tr><td>第 4 回</td><td>9 月 5 日</td><td>229 名</td></tr><tr><td colspan="2">合 計</td><td>1,235 名</td></tr></table> ※昨年度 963 名 ⑤業者主催入試説明会等 本学主催 参加高校：29 校 業者主催 兵庫県内、近畿、中国エリアにて、高校内進学相談会含め 149 会場 ⑥母校訪問 訪問学生数：74 名 訪問学校数：59 校		開催日	参加者数	第 1 回	6 月 20 日	248 名	第 2 回	7 月 12 日	282 名	第 3 回	8 月 8 日	476 名	第 4 回	9 月 5 日	229 名	合 計		1,235 名																																																																																				
	開催日	参加者数																																																																																																							
第 1 回	6 月 20 日	248 名																																																																																																							
第 2 回	7 月 12 日	282 名																																																																																																							
第 3 回	8 月 8 日	476 名																																																																																																							
第 4 回	9 月 5 日	229 名																																																																																																							
合 計		1,235 名																																																																																																							

2	入学者の安定確保		⑦入試関係 ・指定校推薦入試 ・自己推薦入試（教育学部、短期大学部） ・公募推薦入試 ・公募推薦入試2次（教育学部、短期大学部） ・一般入試 ・一般入試2次 ・一般入試3次（教育学部） ・センター試験利用入試 ・センター試験利用入試2次 ・社会人入試 ・社会人自己推薦入試（教育学部） ・看護学科編入学 ・外国人留学生入試 ・看護学科通信制一般入試 ・看護学科通信制推薦入試1次、2次 ・看護学科通信制自己推薦入試1次～5次
3	国際交流関係事業の推進	・ネパールからの研修生を受け入れ、学生交流の充実を図る。また、従来のカトマンズ交流に加え、新たにポカラのリージョナルカレッジオブサイエンスアンドテクノロジーとの交流を追加する。 ・従来の医療検査学科・看護学科の国際保健医療活動研修（ネパール・米国・フィリピン）、こども教育学科の海外研修（ネパール）、口腔保健学科の海外研修（米国）事業の更なる充実を図る。 ・インターンシップ業務 スタンフォード大学からインターンシップ生を受け入れ、学生交流の充実を図る。 ・国際交流センターがイングリッシュイブニングの所管となり、プログラムの更なる充実を図る。	①ネパール交換研修生受け入れ 期 間：12月6日～12月13日 研修生：カトマンズ交流2名（ポカラ交流生については学内調整がつかず未実施） ②「国際保健医療活動Ⅱ」の海外研修（アメリカ、フィリピン） フェーズⅡ 期 間：平成27年9月11日～9月21日 研修生：アメリカ13名（医療検査学科－7名、看護学科－4名、他大学－2名） フィリピン6名（医療検査学科－5名、他大学－1名） ③「海外研修」の海外研修（アメリカ） フェーズⅡ 期 間：平成27年9月13日～9月19日 研修生：アメリカ8名（口腔保健学科） ④インターンシップ生受け入れ スタンフォード大学からの配属依頼が無く中止 ⑤イングリッシュイブニング <前期> 期 間：平成27年5月18日～7月6日のうち全7回 参加者：20名（医療検査学科－12名、看護学科－4名、こども教育学科－1名、 口腔保健学科－3名） <後期> 期 間：平成27年10月26日～12月14日のうち全7回 参加者：21名（医療検査学科－11名、看護学科－6名、こども教育学科－4名） ⑦大学コンソーシアムひょうご神戸の海外研修事業（ネパール） フェーズⅡ 期 間：平成28年3月15日～3月23日 研修生：8名（医療検査学科－6名、看護学科－2名）
4	自己点検・評価への取組	年次報告書による部署毎の年1回の自己点検だけでなく、大学全体の目標に対する自己点検・評価を数年に1度実施する体制を構築する。	最近数年間の大学全体の目標として最も重要なものは教育改革である。そこで、これを今回の重点項目として採り上げ、教育イノベーション機構の設立から「ときわ教育」や「ときわコンピテンシー」の提言など「教学マネジメント改革」に到る教育イノベーション機構2年間の活動報告を、平成27年度年次報告書・第2部として掲載した。なお、次年度以降自己点検委員長に副学長をあてることにより、大学全体の中長期的取り組みに対する点検・評価のガバナンス体制を強化する。
5	競争的資金の獲得	大学教育研究開発センターが中心となり学内の研究基盤整備を推進することにより、大学全体の底上げを図ると同時に、科研費や大学改革推進事業などの外部資金の獲得を目指す。 また、教職員等へのコンプライアンス教育及び研究倫理教育の充実を図る。	①科学研究費補助金 昨年度からの継続分が8件（期間延長2件及び転入1件含む）、今年度新規分が3件、合計11件が採択された。（本学教員が研究代表者分） 〔獲得金額〕直接経費：13,800,000円、間接経費：4,140,000円 ②その他の外部資金 4件 800,000円 （保健科学部 畑吉節未教授（2件）：200,000円＋150,000円、鵜飼知鶴講師：250,000円、 口腔保健学科 柳敏晴教授：200,000円） ③受託研究費 1件 3年間 総額1,300,000円（27年度：500,000円） （保健科学部 坂本秀生教授、澤村暢助教、三浦真希子助手） ④研究倫理教育 研究倫理委員会業務として、今年度から義務付けられた研究倫理に関する体制整備を行い、規程の新設とともに研究者等に対する研究倫理教育を実施した。 期 間：平成27年8月10日～9月28日 対 象：本学専任教員・研究支援人材
6	大学間連携事業の推進	コンソーシアムひょうご神戸の海外学生派遣プログラム（フィールドワーク型プログラム）の基幹校として中心的な役割を担い、他大学の学生との交流を図る。	①「国際保健医療活動Ⅱ」の海外研修（アメリカ、フィリピン） フェーズⅡ 期 間：平成27年9月11日～21日 研修生：アメリカ13名（医療検査学科－7名、看護学科－4名、他大学－2名） フィリピン6名（医療検査学科－5名、他大学－1名） ②大学コンソーシアムひょうご神戸の海外研修事業（ネパール） フェーズⅡ 期 間：平成28年3月15日～3月23日 研修生：8名（医療検査学科－6名、看護学科－2名）

高 校											
1	教育課程	①教 科 ・科、コースにおける特色ある教育課程の検討 ・教科科目、学校行事等の検討と精選 ・各教科シラバスの作成とわかる授業への活用 ・教科間の連携による授業形態の検討 ・進路(進学・就職)に向けた習熟度別授業の実践と検証	①教 科 ・科、コースにおける特色ある教育課程の検討 - 普通科（総合コース・特進コース）・家庭科、それぞれの生徒が進路を見据えた力を身につける ための取り組みを検討、社会科で時事問題を取り入れたり、各種の検定試験を進めていった。家庭科の実習授業では検定試験に備え専門知識を有した講師による授業を実施。 ・教科科目、学校行事等の検討と精選 ○文化祭（10月4・5日） - 多くの保護者や卒業生が参加、育友会の模擬店も盛況であった。 ○秋の遠足（11月12日） - 晴天の中、学年ごとのコースで実施。3年生は全員参加。 ○芸術鑑賞会（11月27日） - 県立文化体育館で劇団KIOの「賢治の贈り物」を鑑賞。 ○シンガポール修学旅行（1月14～19日） 2年生がA、B班に分かれて3泊5日の修学旅行を実施した。 - 現地女子大生との交流等を含めて、帰国後のアンケート調査では95%以上が良かった。 ○予餞会（2月19日） - 卒業を控えた3年生が母校への強い思いを将来的にも持ち続けるよう企画、実施した。 ○第67回卒業証書授与式（2月26日） - 長田区の中学校校長も全員来賓として出席していただき厳かな雰囲気で行ってきた。 ・各教科シラバスの作成とわかる授業への活用 - 学期末に教科会で教科指導の工夫や教材の活用について意見交換をし、実践授業に活かしていく打合会を実施した。 - 英語科ではALT（外国人講師）を活用して英語への関心、興味を高める授業を展開した。 ・教科間の連携による授業形態の検討 - 教科会で教科の専門だけでなく、一般常識を含めた授業ができるよう検討してもらった。 ・社会科の授業で副読本「私たちが拓く日本の未来」を教材として使用、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたことを踏まえて有権者としての知識や資質について学習させた。 ・進路（進学・就職）に向けた習熟度別授業の実践と検証 <1年> - 総合コース3クラス「コミュニケーション英語Ⅰ」を6クラスに分け習熟度別授業を実施。 - 看護医療コース1クラス「コミュニケーション英語Ⅰ」を2クラスに分け習熟度別授業を実施。 <2年> - 進学コースの2クラス選択授業「進学国語」を3クラスに分け習熟度別授業を実施。 - 看護医療コース1クラス「コミュニケーション英語Ⅱ」を2クラスに分け習熟度別授業を実施。 - 看護医療コース1クラス「数学演習」を2クラスに分け習熟度別授業を実施。 <3年> - 進学コースの2クラス選択授業「進学国語」を3クラスに分け習熟度別授業を実施。								
		②特別活動 ・特別活動の活動項目、内容の検討 ・生徒会活動の活性化と外部との連携の検討 ・ボランティア活動への積極的な参加とボランティアセンターへの登録者数の増加促進 ・福祉教育活動や体験活動の継続的な取り組み ・部活動の活性化 ・各学科コースの特色をアピールするプログラムの継続 <家庭科> - 専門学校講師の実技指導、検定試験の継続 <キャリアコース> - 各種検定試験の継続 - 秘書検定・全商簿記実務検定・全商ビジネス文書実務検定・全商情報処理検定等 「トキワクト」、「キャリア実践」の継続 <特進コース> - 習熟度別授業の拡充 <全校生> - 検定試験の受験者、合格者の増加促進 - 英語検定・漢字検定・硬筆書写検定・検定試験受験前講習会等	②特別活動 ・特別活動の項目、内容の検討 1年 「防犯講座」（4月30日）、「人権学習」（4月～6月）を実施、特にネット犯罪・スマートフォンのトラブル等について県警の専門家から講義してもらった。 2年 「人権学習」（4月～6月）、「進路講座」（6月17日）を実施した。 3年 「人権学習」（4月～6月）、「進路ガイダンス」（4月22日・23日）、「進路講座」（6月15日）、「進路セミナー」（5月～7月）を実施した。 - 進路（進学・就職）に向けての知識と前向きな姿勢を身につけさせる。 ・生徒会活動の活性化と外部との連携の検討 - 生徒総会（5月29日）、陸上競技大会（4月13日）、運動部壮行会（4月24日） - ネパール地震募金活動（JR新長田にて4月28日・5月1日、校内にて5月28日・29日） 「私立高校生による須磨海岸清掃活動」生徒会役員を中心に15名参加（6月9日） 「平和と東日本大震災からの復興を願う高校生達のつどい」では本校の生徒会役員が実行委員となり、平和イベントを開催した。（8月8日・9日：地域人材支援センター） ・ボランティア活動への積極的な参加とボランティアセンターへの登録者数の増加促進 ボランティアセンター登録者数（27年度） <table> <tr> <td>1年生</td><td>2年生</td><td>3年生</td><td>計</td></tr> <tr> <td>10名</td><td>10名</td><td>31名</td><td>51名</td></tr> </table> ※登録はしていないが、他の部活動に入っている生徒で土・日、夏休み等にボランティアに参加する生徒も多い。 一般のボランティア説明会（5月14日・7月3日・7日・9日） 定期ボランティア（毎週1回） - 神戸市立細田児童館（毎週1回：こども施設ボランティア） 15名 - 長田すみれビレッジ（毎週1回：高齢者施設ボランティア） 15名 - ふれあい運動会（5月30日：ニチイ学館ポートアイランドセンター体育館） 障害児託児ボランティア - すまいるぽっとらっく（5月9日・6月13日・7月11日・8月2日・10月10日・11月14日・12月12日） - なだぽっとらっく（6月20日・11月21日・12月19日） 池田児童館「夏祭り」（7月24日） 片山児童館「夏祭り」（7月31日） サルビアディホーム「夏祭り」（8月4日・5日・6日） 新湊川一川であそぼうー（7月25日・8月22日） 大正筋商店街縁日（7月25日） 新長田駅前クリーン作戦（6月6日・8月1日・9月5日・11月7日） おもいけフェスタ（10月24日） あらたフェスタ（11月7日・8日）	1年生	2年生	3年生	計	10名	10名	31名	51名
1年生	2年生	3年生	計								
10名	10名	31名	51名								

1	教育課程	1・17 震災追悼行事にボランティア部、ソフトボール部が参加。(1月17日) 炊き出しの手伝いや募金活動に約30名の生徒が参加。 「高校生鉄人化まつり」にバトントワーリング部、合唱部が参加。(3月20日) 小豆島地域活性プロジェクト(大学連携)に6名の生徒が参加。(8月17日～19日) ・福祉教育活動や体験活動の継続的な取り組み 夏休み中(7月～8月)の福祉体験学習活動に参加した生徒数 1期(7月22日～24日)・2期(7月29日～31日)・3期(8月4日～6日) <table><tr><td>1年生</td><td>2年生</td><td>3年生</td><td>計</td></tr><tr><td>6名</td><td>15名</td><td>21名</td><td>42名</td></tr></table> 神戸市内の保育所、児童館、高齢者施設、障害者施設等で福祉体験活動をした。 職員も手分けをして生徒の活動を見て回り激励をした。 3年福祉教育体験(11月18日) 手話、盲導犬、車いす、点字、ユニバーサルデザイン作りのグループに分かれ体験活動を実施。 ・部活動の活性化(運動部9部、文化部20部 計29部) 部活動部員数 運動部173名 文化部226名 部活動加入率 1年52.5% 2年42.8% 3年44.1% 全学年46.2% <ソフトボール部> 県総体ソフトボール大会(6月6日:但馬ドーム)、県総合体育大会 ベスト8 <弓道部> 県新人大会及び近畿高等学校弓道選抜大会県予選(9月6日) 団体戦 準優勝 第23回近畿高等学校弓道選抜大会(11月22日) 団体戦 優勝 <バトントワーリング部> 第33回関西バトントワーリングコンテストに出場(6月14日) 第39回全国高等学校総合文化祭に出場(7月30日) バトントワーリング神戸市の集いー神戸ビエンナーレイベントー」出場(8月22日) 第24回バトントワーリング兵庫県大会 金賞(9月6日) 第37回バトントワーリング関西大会 優秀賞(11月3日) 第43回バトントワーリング全国大会 高等学校の部 銀賞(12月12日) バトントワーリング部が神戸新聞の部活紹介「部活 ing」に掲載される。(6月2日) <フットサル部> 長田区の地域交流試合に出場、神戸新聞に掲載される。(3月22日) <ボランティア部> 第19回ボランティア・スピリッツ賞に応募して「コミュニティ賞」受賞(11月) ・各学科コースの特色をアピールするプログラムの継続 【家庭科】 専門学校講師の実技指導、検定試験の継続 3年調理・栄養コース特別授業(6月2日～3日・7月15日) 講 師:みかしほ学園 日本調理製菓専門学校 校長 水野 博先生 含2名 内 容:全国高校家庭科食物調理技術検定2級(女子高校生の通学用弁当献立) 全国高等学校家庭科食物調理技術検定2級(筆記試験6月26日、実技試験7月23日) 3年テーブルマナー講習会(1月15日)、2年製菓実習会(2月29日) 3年家庭科コース発表会(2月4日) ※3年1名が「27年度手作り絵本コンクール」で奨励賞を受賞。(2月21日) ※3年2名が「27年度産業教育」で優良卒業生表彰を受賞。(2月25日) 【キャリアコース】 各種検定試験の継続 全商簿記実務検定(6月28日・1月24日) 全商ビジネスコミュニケーション検定(7月12日) 全商ビジネス文書実務検定1～3級(7月5日・11月22日) 情報処理検定(9月27日・1月31日) 秘書検定(11月7日・2月7日) ○「トキワクト」、「キャリア実践」の継続 <2年> 体験実習プログラム ブルーベリー園見学と軽作業と職業講話ー菊水ゴルフクラブ内ドンキーバレーー(6月24日) 作物農業体験 畑の整地作業、作物の植え付け作業、水やり、雑草抜き、収穫等。(毎週火曜日) ※平成27年度の「報告会」を実施。一年間の取り組みを生徒達が司会、報告者、スライド係を担当して発表。その様子が神戸新聞朝刊(3月2日)に掲載された。 <3年> 福祉施設体験実習プログラム 「花みさき」特別養護老人ホーム訪問(6月18日・25日) 農業体験で収穫したチンゲン菜、カブ、人参、きゅうりなどを持参して提供。 高齢者の方から戦争の体験(シベリア抑留体験)を聞いた。(産経新聞6月26日掲載)	1年生	2年生	3年生	計	6名	15名	21名	42名
1年生	2年生	3年生	計							
6名	15名	21名	42名							

1	教育課程		作物農業体験 ときわ幼稚園との交流－さつまいもの苗植え－（5月15日） 園長先生以下幼稚園児34名参加して秋の収穫を祈り苗植えをした。 ときわ幼稚園との交流－さつまいもの収穫作業－（10月29日） 収穫後、園児より生徒に蒸かし芋と園児一人ひとりのメッセージが届けられた。 田植え体験－神戸市北区八多町の水田－（5月27日） 稲刈り体験－神戸市北区八多町の水田－（9月21日） 畑の整地作業、作物の植え付け作業、水やり、雑草抜き、収穫等。（毎週木曜日） 今年度も「第29回日本一どでカボチャ大会（小豆島）」に出場。昨年に続き大会用のカボチャ（52.5kg）を作り出展、スコッシュ部門で4位。（9月20日） 文化祭で収穫した野菜を材料にポトフ（シチュー）を販売。（10月3日） ※3年キャリアコース（26名）の進路 就職15名 短期大学2名 専門学校6名 家事従事3名 ※神戸大で大学生に「トキワクト」の実践状況を教育的な立場から報告。（7月7日） 【特進コース】 看護医療コースは「英語」、「数学」で習熟度別で授業を実施した。 こども教育コースは2学期より放課後、専門のピアノ講師（2名）による希望生徒への授業外個別レッスンを実施した。そのうち7名が常盤大こども教育学科に進学した。 【全校生対象の各種検定試験】 英語検定2級～4級（6月5日・7月5日・10月9日・11月8日・1月22日・2月21日） 漢字検定（6月7日・8月21日・10月31日・2月7日） 日本語検定（6月13日・11月7日） 硬筆書写検定（6月19日・11月6日・1月29日）																								
	③総合的な学習の時間 ・総合的な学習の時間の活動内容の検討	③総合的な学習の時間 外部講師による防犯講座、性教育を実施。 「防犯講座」神戸西部サポートセンターの講師2名（4月30日） 「性教育」兵庫県立総合衛生学院助産学科の教員・学生による授業。（6月23・7月3日）																									
2	進路指導	①進路指導体制の充実 ・進学、就職の現状分析と課題の確認 ・進路先の拡充	【進路状況】 ※カッコ内は昨年度数値 卒業者数 276名（274名） a. 進学・就職者数 <table><tr><td>進学</td><td>190名（167名）</td></tr><tr><td><内訳> 四年制大学</td><td>68名（58名）</td></tr><tr><td> 短期大学</td><td>39名（38名）</td></tr><tr><td> 専門学校</td><td>83名（71名）</td></tr><tr><td>就職</td><td>59名（65名）</td></tr><tr><td>家事手伝い</td><td>2名（4名）</td></tr><tr><td>未定</td><td>25名（38名）</td></tr></table> ※「未定」にはアルバイト等を含む b. 神戸常盤大学・同短期大学部への推薦入学者数 <table><tr><td>医療検査学科</td><td>2名（4名）</td></tr><tr><td>看護学科</td><td>11名（10名）</td></tr><tr><td>こども教育学科</td><td>12名（4名）</td></tr><tr><td>口腔保健学科</td><td>8名（8名）</td></tr><tr><td>合 計</td><td>33名（26名）</td></tr></table> <進路決定率> 90.2% 進学については関西外語大学、京都産業大学、京都薬科大学、兵庫医療大学等に合格。また、就職も希望者62名のうち59名が決定した。神戸常盤大学・同短期大学部には33名が進学。 ①進路指導体制の充実 本校へ求人を送ってきた事業所、求人数（27年度） 事業所297件 求人数317件 ・昨年よりも求人数が増えた。就職、進学ともに進路への高い意識付けが必要。特に就職後、長く勤めるためには進路選択への心構えや知識が欠かせない。そのための取り組みを実施した。 進路ガイダンス（4月22・23日・6月8日） 個別就職セミナー（5月中旬～7月中旬） 進路講座（3年：6月15日、2年：6月17日、1年：10月28日） 保護者対象進路説明会（5月1日・7日） 進学相談会（6月16日） 3年社会人準備講座（12月15日・1月29日・2月3日・2月15日・2月19日） 2年看護・医療系進学希望者説明会（11月10日） 2年看護・医療系専門学校進学希望者見学会（11月14日） 2年神戸総合医療専門学校見学会（7月17日・12月10日）	進学	190名（167名）	<内訳> 四年制大学	68名（58名）	短期大学	39名（38名）	専門学校	83名（71名）	就職	59名（65名）	家事手伝い	2名（4名）	未定	25名（38名）	医療検査学科	2名（4名）	看護学科	11名（10名）	こども教育学科	12名（4名）	口腔保健学科	8名（8名）	合 計	33名（26名）
進学	190名（167名）																										
<内訳> 四年制大学	68名（58名）																										
短期大学	39名（38名）																										
専門学校	83名（71名）																										
就職	59名（65名）																										
家事手伝い	2名（4名）																										
未定	25名（38名）																										
医療検査学科	2名（4名）																										
看護学科	11名（10名）																										
こども教育学科	12名（4名）																										
口腔保健学科	8名（8名）																										
合 計	33名（26名）																										

2	進路指導	②特進コース授業内容の検討と実施 ・習熟度別授業、補充授業、土曜講習等 ・学習合宿の継続と内容の充実化	②特進コース授業内容の検討と実施 ・看護医療コースは１・２年「コミュニケーション英語」、２年「数学演習」を習熟度別で授業を実施。看護医療全国公開記述模擬試験（６月１０日・１１日） ・学習合宿を昨年に引き続き２泊３日で実施した。１・２年特進コースの１３１名が参加、本校教員、塾講師、特進コースの卒業生も入り有意義な３日間だった。（８月２５日～２７日） ・合格体験発表会。特進クラスの３年が１・２年に合格までの学習に対しての取り組みを語る会を毎年実施している。（２月１８日）																					
		③キャリア教育の充実 ・各種検定試験の実施と受験者増加促進 ・コミュニケーション能力向上等も含めたトキワアクト（農業体験、福祉教育体験）の推進	③キャリア教育の充実 ・各種検定試験（全商簿記実務検定・全商ビジネス文書実務検定・全商ビジネスコミュニケーション検定等）を実施したが、受験前の補充学習では多くの生徒が参加して検定への意気込みが強く感じられた。 ・トキワアクト（農業体験、福祉教育体験）は３年目に入り勤労意欲の向上や人との協調性、コミュニケーション能力の育成に効果が現れてきた。また、トキワアクトの２７年度手作り発表会（３月１日）での生徒の様子を見ていると、自信と今後への意欲が感じられた。																					
		④神戸常盤大学との連携による進学前学習の充実	④神戸常盤大学との連携による進学前学習の充実 ・昨年に引き続き、神戸常盤大学合格者入学前教育を実施していただいた。（１２月１７日・２月２３日）																					
3	生徒指導	①基本的生活習慣の徹底 本校の努力目標「欠席・遅刻をしない」・「端正な容姿を保つ」・「気持ちよく挨拶をしよう」の慣習化	①基本的生活習慣の徹底 ・本校の努力目標を式や全校朝礼等で繰り返し述べ、それが社会人として基本的なマナーであることを説諭した。 登下校指導、風紀指導、遅刻欠席指導は毎学期、定期的に実施した。 ・１年オリエンテーション合宿－蒜山高原－（４月１６日～１８日） 本校の生活に早くなれることと、新しい仲間との関係構築のため毎年実施している。																					
		②生命の尊重、生きる力の育成	②生命の尊重、生きる力の育成 ・性教育（兵庫県総合衛生学院の実習講義）やトキワアクトにより命の大切さ、自己の大切さ、生きることの大切さ、学校行事を通じて仲間の大切さ等を考えさせ、体感させた。また、保護者に対しては育友会総会後に高藤真理先生（神戸常盤大学短期大学部口腔保健学科講師）の講演会を実施した。（５月２２日）																					
		③人権教育の徹底 「いじめ防止対策委員会」基本方針による実践	③人権教育の徹底 昨年に策定した「神戸常盤女子高等学校いじめ防止基本方針」にのっとり推進委員会を設置、仲間意識のさらなる構築と自己肯定ができる環境づくりをしていくこと、担任・学年の組織が日頃より人権侵害の行為がないか見守っていくことを確認した。																					
		④諸規定の再確認と検討	④諸規定の再確認と検討 警報時の休校等について検討、安全面に配慮した指示を出すこととホームページ活用を確認。																					
		⑤各学年における風紀検査指導、校内外の巡回指導の実施	⑤各学年における風紀検査指導、校内外の巡回指導の実施 登下校指導、風紀指導、遅刻欠席指導は毎学期に実施した。 保護者にも協力を依頼しなければならない時は保護者召喚も学期末に実施した。																					
		⑥薬物乱用防止講習会実施	⑥薬物乱用防止講習会実施 兵庫県警の生活安全課より配布のパンフレットを使用し学年集会・HR等で指導した。（６月）																					
		⑦情報ネット（携帯サイト）犯罪防止教育の強化	⑦情報ネット（携帯サイト）犯罪防止教育の強化 「防犯講座」により神戸西部少年サポートセンター署員２名がネット、LINE等で起きる身近なトラブル・事件を説明、犯罪防止を指導してくれた。（４月３０日） １年の情報教育の授業で教材を使い、コンピュータやスマホの正しい使い方を指導。																					
4	募集対策	①募集活動の強化 ・中学校訪問での科・コース等の特色、奨学金制度、神戸常盤大学との連携、進路の状況等の広報 ・各中学校での進路講話への参加と中学生の本校訪問の拡大	【入学者数】 ※カッコ内は昨年度数値 <table><tr><td></td><td>受験者数</td><td>入学者数</td></tr><tr><td>家庭科</td><td>204名（163名）</td><td>113名（95名）</td></tr><tr><td>普通総合コース</td><td>229名（206名）</td><td>120名（105名）</td></tr><tr><td>大学特進こども教育コース</td><td>125名（111名）</td><td>29名（27名）</td></tr><tr><td>大学特進文系コース</td><td>39名（42名）</td><td>3名（6名）</td></tr><tr><td>大学特進看護医療コース</td><td>112名（121名）</td><td>30名（30名）</td></tr><tr><td>合 計</td><td>709名（643名）</td><td>295名（263名）</td></tr></table> ①募集活動の強化 ・中学校訪問での科・コース等の特色、奨学金制度、神戸常盤大学との連携状況等の広報。 第１回中学校訪問（５月上旬） 27年度入試への御礼、進路担当者との顔つなぎ、新入生（１年）の近況報告。 第２回中学校訪問（６月下旬） オープンスクールの案内はがき配布。 第３回中学校訪問（９月下旬） 入学者募集資料をもとに説明。ミニパンフレットを女子生徒へ配布依頼。 第４回中学校訪問（１０月下旬） 募集要項と事前相談日の説明。 第５回中学校訪問（２月中旬） 受験校への御礼、考査結果の報告、後期募集の説明 ・各中学校での進路講話への参加と中学生の本校訪問の拡大。 募集担当が中学校側の要請で進路講話の講師として高等学校の特色等の話をした。 今年度は２２校の依頼があった。 ・こども教育コース生徒へのピアノ個別レッスンを２学期より実施。音楽教師１名と講師２名による個別のピアノレッスンを開始した。幼稚園の先生を目指す生徒にとって大学でのピアノ授業に備えるもので、他校にはない試みである。 レッスンを希望した中の７名が神戸常盤大学教育学部こども教育学科に進学した。 ・神戸市中学校家庭科教員と本校家庭科教員との合同研修会（８月７日） 調理専門学校（みかしほ学園）の講師（２名）を招き実習と試食。意見交換会。 昨年に続き２回目、今年度は「浴衣着付け研修」も実施した。 中学校家庭科教員は３１名が参加した。来年度も実施予定。		受験者数	入学者数	家庭科	204名（163名）	113名（95名）	普通総合コース	229名（206名）	120名（105名）	大学特進こども教育コース	125名（111名）	29名（27名）	大学特進文系コース	39名（42名）	3名（6名）	大学特進看護医療コース	112名（121名）	30名（30名）	合 計	709名（643名）	295名（263名）
	受験者数	入学者数																						
家庭科	204名（163名）	113名（95名）																						
普通総合コース	229名（206名）	120名（105名）																						
大学特進こども教育コース	125名（111名）	29名（27名）																						
大学特進文系コース	39名（42名）	3名（6名）																						
大学特進看護医療コース	112名（121名）	30名（30名）																						
合 計	709名（643名）	295名（263名）																						

4	募集対策	②オープンスクール、塾説明会の実施と私学展への参加	②オープンスクール、塾説明会の実施と私学展への参加 ・第1回オープンスクール（7月28日） 参加数 生徒 272名 保護者 142名 計 414名 ・第2回オープンスクール（8月21日） 参加数 生徒 154名 保護者 102名 計 256名 公開講座、案内役等に参加する在校生の数を増加して中学生・保護者とのコミュニケーションを採れる機会を多くした。本校を知ってもらうには効果は大である。また、学校行事やコース、部活動で活動している生徒の様子を写真で紹介するパネルも数多く設置し展示した。大学からも支援をいただき講師派遣、大学の説明会、施設見学等を実施してもらった。 ・学習塾入試説明会（9月17日） 参加塾 33塾 参加人数 37名 ・私学展及び私学フェスティバル 第1回私学展（ノボテル甲子園：8月2日） 第1回と学フェスティバル（ハーバーランド：8月22・23日） 私学フェスティバルでは、「私学エスコート大使」に生徒4名参加。エキシビジョン」には吹奏楽、バトントワリング部、合唱部が参加。「アートフェスティバル」には書道部が出展して「市長賞」を受賞した。本校への相談生徒数は74名であった。
		③学校説明会、入試説明会の実施	③学校説明会、入試説明会の実施 全職員による見学会を11回、1日3回実施した。（10月31日～12月19日） 参加生徒数 711名 参加保護者数 514名
		④募集関係パンフレット、広告等の検討	④募集関係パンフレット、広告等の検討 ・在校生・卒業生をアピールしたパンフレットを作成し、7月に配布した。 ・校外での活動、行事、部活紹介、ボランティア活動等の資料を報道機関にアピールし、新聞に取り上げてもらった。（1年間で13件）
		⑤広報紙「ときわ」の作成・配布	⑤広報紙「ときわ」の作成・配布 ・「ときわ9号」を発行、オープンスクールや中学校訪問で配布した。（7月18日） ・「ときわ10号」を発行、学校見学会で配布した。（11月28日）
		⑥本校の魅力ある教育活動の発信と卒業生、在校生の活動の発信 ・部活動広報誌の検討	⑥本校の魅力ある教育活動の発信と卒業生、在校生の活動の発信 ・ホームページの更新を2日に1日程度、実施した。月平均460件のアクセスがあった。 ・バトントワリング部の紹介（神戸新聞6月2日掲載） ・吹奏楽部定期演奏会ービフレホールー（神戸新聞6月25日掲載） ・「看護・医療進学者の集い」本校より看護や医療関係の職に就いている卒業生や大学生が集まり、体験を話したり討議をする会を毎年実施している。（3月30日）
		⑦在校生による中学校への母校訪問	⑦在校生による中学校への母校訪問 ・部活動に入部している生徒に顧問より中学校への母校訪問を依頼してもらった。（8月） ・本校での高校生活を中学の後輩に発信することで、本校の良さを理解してもらう。
5	高大連携（学園内交流）強化	①オープンスクール、学校見学会における大学との連携	①オープンスクール、学校見学会における大学との連携 ・第1回オープンスクールでは「医療入門」講座で大学職員により臨床検査技師や歯科衛生士に学ぶ仕事紹介、体験実習をしていただき看護コースへの関心を高めた。（7月28日） ・第2回オープンスクールでは大学見学を実施。多くの大学職員の協力を得た。（8月21日） ・学校見学会でも大学の見学、説明を実施していただいた。（10月31日～12月19日）
		②卒業生（神戸常盤大学・同短期大学部進学生）を活用した活動拡大 オープンスクール、学習合宿、広報紙作成等	②卒業生（神戸常盤大学・同短期大学部進学生）を活用した活動拡大 ・オープンスクールでは「こども教育」、「看護体験」の講座を開設。本校の卒業生で現役の保育士・幼稚園教諭、看護師が参加して体験実習をしてくれた。（7月28日） ・学習合宿では特進コースの卒業生が数名参加、学習のアドバイスをしてくれた。（8月26日） ・広報紙「ときわ9・10号」でも本校卒業の保育士・幼稚園教諭、看護師、大学生がメッセージを寄稿してくれ、関心を高めた。（7月18日・11月28日）
		③文化祭での健康チェック実施	③文化祭での健康チェック実施 ・文化祭では健康チェックのコーナーで大学の職員、卒業生が器具等を使って丁寧に説明していただき、好評であった。（10月3・4日）
		④TOKIWA 健康フェアでの協力	④TOKIWA 健康フェアでの協力 ・健康フェアに69名の生徒がボランティア等で参加した。（10月11日）
		⑤神戸常盤大学・同短期大学部への進学拡大	⑤神戸常盤大学・同短期大学部への進学拡大 ・高大連絡協議会（7月2日） ・神戸常盤大学・同短期大学部への進学者数：33名 ＜内 訳＞（再掲） 医療検査学科2名 看護学科11名 こども教育学科12名 口腔保健学科8名
		⑥神戸常盤大学・同短期大学部との進学前学習	⑥神戸常盤大学・同短期大学部との進学前学習 ・神戸常盤大学合格者入学前教育（12月17日・2月23日）
		⑦従来の具体的な連携事業の継続 全学年歯科検診、3年大学見学会、1年NUP学長講演会、2年N看護学科体験授業、1年N看護学科体験授業、オープンスクール大学見学会、2年NUP口腔保健学科見学会、塾説明会法人本部長説明、2年P「音楽」保育進学基礎授業、文化祭健康講座、進学前学習セミナー、ボランティアセンター活動参加等	⑦従来の具体的な連携事業の継続 ・歯科検診 1年生（4月28日）、2年生（4月15日）、3年生（4月17日） ・3年神戸常盤大学進学希望者見学会（5月26日） ・2年看護コース看護学科体験授業（5月27日） ・3年こども教育学科進学希望者見学会（6月10日） ・神戸常盤大学学長講演会（6月17日） ・医療検査学科進学希望者体験授業（6月25日） ・高大連絡協議会（7月2日） ・オープンスクールで医療検査学科、口腔保健学科、こども教育学科の職員が講座を開設。（7月28日） ・口腔保健学科進学希望者体験授業（9月9日） ・2年看護コースこども教育学科「音楽」体験授業（9月10日） ・1年こども教育コース学部長による講演会（10月15日） ・看護医療、こども教育進学希望者への進路講座（10月28日） ・1・2年こども教育コースときわ幼稚園見学会（11月25・26日）

5	高大連携（学園内交流）強化		・「小豆島地域活性プロジェクト」に6名の生徒が参加。大学生と共に地域活動に従事し、交流を深める体験をした。（8月17日～19日） ・国際交流センター会議（4月13日・5月11日・6月8日・7月13日・8月10日・2月8日）
6	教員研修	①教職員研修の推進	①教職員研修の推進 ・県高校部会、私学連合会等の研修に参加。 ・初任者研修会に2名参加。（7月23日） ・中堅者研修会に2名参加。（8月3日～4日） ・実習研修をかねて本校家庭科職員と神戸市中学校家庭科職員との合同研修会を本校で実施し、30名ほどの中学校職員が参加、実習後に意見交換会も行われた。（8月7日）
		②教員の研修の機会を確保	②教員の研修の機会を確保 ・いじめ防止対策、体罰防止対策等を念頭に置き生徒指導の共通理解と研修を実施した。また、生徒の健康面における共通理解のための研修も実施した。（4月7日）
		③教科内研修の充実	③教科内研修の充実 ・毎学期、教科会を実施し、教科指導、有効な教材、評価について意見交換が行われた。また、家庭科、普通科総合コース、特進コース等で学習力を伸ばす工夫も検討された。
		④生徒指導研修	④生徒指導研修 ・学年ごとに実施している生活に関する指導の共通理解と課題を運営委員会及び生徒指導委員会等で検討し、職員会議にて意見交換を実施した。
7	その他	①生徒募集基本構想委員会の審議決定事項の推進 検討委員会で審議された項目において毎年確認をしていきながら推進	①生徒募集基本構想委員会の審議決定事項の推進 検討委員会（4年間で34回：平成21年9月～24年12月）で審議、決定された項目において毎年確認をしていながら推進する。 ・建学の精神を堅持し、女子高としての特色をアピールする。 ・三つの努力目標をしっかりと身につけさせる取り組み。 ・普通科（総合コース・特進コース）、家庭科（調理製菓コース・服飾コース）の特色づくり。 ・3年目を迎えたトキワクト（農業体験・ボランティア活動）のさらなる充実。 ・幅広い高大連携の推進（進学・各教育活動・職員交流等）。 ・広報活動の充実。特色ある教育活動や在校生、卒業生の活躍を積極的に広報した。
		②女子高校としての魅力ある特色の発信	②女子高校としての魅力ある特色の発信 ・学校行事、部活動、体験活動等をさらに推進し自己の高揚と仲間意識の向上を図った。 ・進路（進学・就職）に向けた取り組み（進路先の確保・検定、資格試験への積極的なチャレンジ等）を推進した。
		③学校評価 生徒対象学校評価アンケート、保護者対象学校評価アンケート、教職員対象学校評価アンケート等の実施と検証	③学校評価 ・生徒対象学校評価アンケート・保護者対象学校評価アンケート・教職員対象学校評価アンケートを学年末に実施した。その結果を次年度に活かしていきたい。（3月）
		④防災教育、避難訓練の実施、防災意識の向上 「命の大切さ」を中心に添えた教育と実践活動	④防災教育、避難訓練の実施、防災意識の向上 ・火災における避難訓練を実施。避難経路の確認と防災意識の向上を図った。（9月4日） ・防災への意気向上と震災の教訓を引き継ぐための震災追悼式を実施した。（1月15日）
		⑤個人情報の管理と教務システムの効率的運用	⑤個人情報の管理と教務システムの効率的運用 ・教務システムの効率的な運用と同時に情報セキュリティの対策を引き続き検討・実施。
		⑥募集活動に関するデータ資料の効率化と分析、検証	⑥募集活動に関するデータ資料の効率化と分析、検証 ・過去のデータをもとにパンフレット、広報、オープンスクール、中学校訪問を実施した。
		⑦ボランティア活動の活性化	⑦ボランティア活動の活性化 ・ボランティアセンターへの登録者数は51名。それ以外に他の部活動に入部している生徒で夏休み中のボランティア活動に参加した生徒は42名。 ・部活動単位、トキワクト等での活動も含めるとかなりの数の生徒がボランティア活動に参加した。
		⑧福祉教育活動の活性化	⑧福祉教育活動の活性化 ・夏休み中の福祉体験活動をはじめキャリアコースの高齢者介護施設の訪問（6月18日・25日）等活動範囲を拡げていった。
		⑨美化清掃体制の強化、備品管理の徹底	⑨美化清掃体制の強化、備品管理の徹底 ・女子高の強みを活かし、全校生による丁寧な清掃活動を実施している。生徒会を通じての節電も含め、伝統ある校舎への愛着心を高めていきたい。

幼稚園																																																					
1	園児募集対策	①未就園児保育の充実 ②通園バスの広域運行 ③特色ある教育の推進	入園見学に際し、ホームページで園の情報を集めてから来園することが増えているので、ホームページの内容や職員ブログを細やかに更新するよう努めた。また、従来通り子育て支援センター えんとの連携や、2歳児クラスの保育の充実を図るようにした。通園バスについては、2台で3コース運行するようにしたため、走行範囲をより広げることができ、入園希望者が増加した。 【入園児数】 <table><tr><td colspan="4">平成 27 年度</td></tr><tr><td>満 3 歳児</td><td>1 名</td><td>3 歳児</td><td>1 名</td></tr><tr><td>3 歳児</td><td>18 名</td><td>3 歳児</td><td>18 名</td></tr><tr><td>4 歳児</td><td>0 名</td><td>4 歳児</td><td>18 名</td></tr><tr><td>5 歳児</td><td>0 名</td><td>5 歳児</td><td>21 名</td></tr><tr><td>合 計</td><td>19 名</td><td>合 計</td><td>58 名</td></tr></table> 入園見学会 平成 27 年 9 月 10 日、18 日 <table><tr><td colspan="4">平成 28 年度</td></tr><tr><td>3 歳児</td><td>17 名</td><td>3 歳児</td><td>18 名</td></tr><tr><td>4 歳児</td><td>1 名</td><td>4 歳児</td><td>18 名</td></tr><tr><td>5 歳児</td><td>0 名</td><td>5 歳児</td><td>18 名</td></tr><tr><td>合 計</td><td>18 名</td><td>合 計</td><td>54 名</td></tr></table> ①未就園児保育の充実 ・2 歳児クラス（ちゅうりっぷ組） 詳細は後述の「2 子育て支援事業の推進」に記載 ・こりすクラブ（0～3 歳児） 詳細は後述の「2 子育て支援事業の推進」に記載 ②通園バスの広域運行 幼稚園専用バス（通勤用）と大学のバス、計 2 台の通園バスにて運行。広範囲の園児募集・確保に繋がっている。 ③特色ある教育の推進 保育目標に基づき、「自然との関わり」など例年どおり実施。 神戸常盤女子高等学校キャリアコースで開講しているトキワアクトに一部参加。異年齢交流やサツマイモの苗付けや収穫などを体験。 <table><tr><td>5 月 15 日</td><td>サツマイモの苗付け</td></tr><tr><td>10 月 29 日</td><td>いもほり</td></tr><tr><td>11 月 10 日</td><td>おいもパーティー</td></tr></table> その他募集対策等 入園募集パンフレット、ポスターの作成（ポスター掲示箇所：40 ヶ所）	平成 27 年度				満 3 歳児	1 名	3 歳児	1 名	3 歳児	18 名	3 歳児	18 名	4 歳児	0 名	4 歳児	18 名	5 歳児	0 名	5 歳児	21 名	合 計	19 名	合 計	58 名	平成 28 年度				3 歳児	17 名	3 歳児	18 名	4 歳児	1 名	4 歳児	18 名	5 歳児	0 名	5 歳児	18 名	合 計	18 名	合 計	54 名	5 月 15 日	サツマイモの苗付け	10 月 29 日	いもほり	11 月 10 日	おいもパーティー
平成 27 年度																																																					
満 3 歳児	1 名	3 歳児	1 名																																																		
3 歳児	18 名	3 歳児	18 名																																																		
4 歳児	0 名	4 歳児	18 名																																																		
5 歳児	0 名	5 歳児	21 名																																																		
合 計	19 名	合 計	58 名																																																		
平成 28 年度																																																					
3 歳児	17 名	3 歳児	18 名																																																		
4 歳児	1 名	4 歳児	18 名																																																		
5 歳児	0 名	5 歳児	18 名																																																		
合 計	18 名	合 計	54 名																																																		
5 月 15 日	サツマイモの苗付け																																																				
10 月 29 日	いもほり																																																				
11 月 10 日	おいもパーティー																																																				
2	子育て支援事業の推進	①2 歳児クラス（ちゅうりっぷ組） 週 3 日（月・水・金）開催 2 歳児のみ登園 5 月より ②こりすクラブ（0～3 歳児） 年間 毎週木曜日開催 親子登園 ③育児相談事業 4 月～翌年 3 月（72 日） 保護者の要請に対応 ④兵庫県補助対象事業 ・わくわく陽だまり事業 ・2 歳児子育て応援事業 ・親子学級 ・みんなの幼稚園事業 ⑤預かり保育事業 年間 220 日（夏季休業中を含む） 保育終了後 16：30 まで	①ちゅうりっぷ組（2 歳児クラス） 週 3 回（月・水・金）実施 年間 88 回実施 ②こりすクラブ（0～3 歳児） 年 間 27 回 利用者数 215 名（延べ数） 平均参加人数 8 組 ③育児相談事業 ①②④にて実施。 年間 72 日 実施 ④兵庫県補助対象事業 ・子育てセミナー 5 月 1 日 親子体操（元当短大教授 末吉先生） 6 月 30 日 歯の健康（口腔保健学科 御代出講師） 9 月 8 日 AED の使い方（医療検査学科 高松講師） 10 月 27 日 フラワーアレンジメント（まなびすと講師） 12 月 2 日 楽しい音楽会（ムジーク天） 1 月 12 日 食育（神戸市保健福祉局職員） 2 月 24 日 グリコピア見学 ・その他兵庫県補助対象事業 上記①～③にて実施 ⑤預かり保育事業 預かり保育専従の非常勤教諭配置：1 名 ＜平 日＞ 保育時間終了後～16：30 まで 年間 172 日実施 平均利用幼児数 7 名 ＜夏休み＞ 実施日数 25 日 平均利用幼児数 5 名 ＜冬休み＞ 実施日数 3 日 平均利用幼児数 8 名 ＜春休み＞ 実施日数 4 日 平均利用幼児数 14 名																																																		
3	神戸常盤女子高等学校生徒の高校生保育体験授業の受入	私立幼稚園高校生保育体験事業受け入れ（補助金対象事業）	私立幼稚園高校生保育体験事業受け入れ（補助金対象事業） 7 月 9 日 1 年生：5 名（兵庫県立須磨友が丘高校） 11 月 25 日 2 年生：30 名（神戸常盤女子高等学校） 11 月 26 日 1 年生：33 名（神戸常盤女子高等学校）																																																		

4	危機管理対策	①園児指導 職員研修（防災・防犯）	①園児指導 職員研修（防災・防犯） 11月24日 年中・年長児消防署見学
		②避難訓練 年3回実施	②避難訓練 6月16日、11月25日、1月15日 避難訓練実施（防災・防犯訓練園児指導、職員研修）
		③施設設備の点検と避難経路確保	③施設設備の点検と避難経路確保 毎月実施
5	大学との連携	－	●こども教育学科 ・7月1日・3日・4日、12月8日・16日、1月15日 幼稚園職員研修助言 ・5月20日・27日、6月11日・24日、9月7日～24日 実習受け入れ ・10月8日～12月3日まで毎週木曜日 基礎実習Ⅱ履修生受け入れ ・6月10日・12日・23日、7月7日・13日、9月18日、2月4日 ときわキッズクラブ講師 ●看護学科 ・9月4日～17日 実習受け入れ ●口腔保健学科 ・4月21日 フッ化物染口法指導 ・5月28日 実習受け入れ ・6月12日 歯科検診
6	その他	①神戸常盤女子高等学校「キャリアコース」にて開講している「トキワアクト」に参加（一部）	①神戸常盤女子高等学校「キャリアコース」にて開講している「トキワアクト」に参加（一部） 詳細は項目「1－③」のとおり。
		②その他	②その他 ホームページ制作